

■ 平成28年度 区政懇談会（山の下）

日 時：平成28年5月11日（水）

15：45～17：15

会 場：山の下まちづくりセンター



（発言）

山の下地区歴史遺産（臨港臺）の復元工事について、火災により焼失してしまったが、開港150周年記念のモニュメントとして、港の一角に設置していただきたい。

（回答）

まずは地域の中で合意形成し、どこに何を造るかプランが固まり、資金面について寄附などの見込みがついたところで、区も一緒になって推進していきたい。

開港150周年に向け構想を固め、予算要求を平成29年度中にする。今、コミ協で考えているものは大規模であるため、リンコーコーポレーションから期間限定で借りている山の下みなとランドに造るのは難しいと考えている。ただ、地域の皆様も盛り上がり、ぜひ残したいということなので、現実的に実施可能な案を練り上げ、今後、協議をしていきたい。市では150周年記念の準備会を県などと9月ごろ立ち上げるとの情報を得ている。

（発言）

防災無線は家の中でも風向きによっては全く聞こえない。もう少し増設していただきたい。

（回答）

山の下地区は区の中でも緊急避難を要する区域があり、すでに5機設置している。これ以上の増設は考えていない。ただ、天候や風向き、建物の影響を受け、家の中では聞こえにくいという欠点もある。緊急告知FMラジオや新潟防災メール、テレビなど、いろいろな方法で情報を素早く知ってほしい。強い地震があったら、津波が一番心配なので、まずどこへ逃げるかを日ごろから訓練して決めておくのが一番大切である。

(発言)

現在の山の下橋は昭和2年にでき、大変古くなっている。県が一度調査、測量をしたことがあるが、河渡から藤見町の交差点を通過して通船川を渡り、クリーニング工場のところへ架かる**新山の下橋**を造り、国道113号につなげていただきたい。ただし、工場地帯であり、土壌改良の必要性が出てくる可能性がある、と専門家から聞いた。その点も調べた上で、ぜひ新しい山の下橋の架橋をお願いしたい。

(回答)

現在の山の下橋は大変老朽化しているため、市は定期パトロールを行い、点検と補修を行っている。架け替えはすでに検討に入っており、今年度は予備設計を行って工事の手法を検討する。ただ、架け替えには時間がかかり、それまでの延命を図るため、今年度、補修工事を行う予算がついている。具体的なことが見えてきたら、皆様に説明するので、お待ちいただきたい。土壌については法令に基づき、きちんと環境を守っていくよう、市として適切に対応する。

(発言)

平成27年に県が15年後、30年後の**西港の整備計画**の見通しを発表した。山の下コミ協会は、平成26年12月に国土交通省北陸地方整備局の次長を招き、新潟西港の整備計画と、新潟港全体の計画、国の考えなどをお話いただいた。空港と港のあるまちがこの山の下地域である。佐渡汽船と北海道フェリーの埠頭があって山の下埠頭があって臨港埠頭がある。そこに飛鳥Ⅱ以上の大きさの船が泊まれるよう岸壁を造り、そこから乗客や観光客がどんどんまちに出る、あるいは空港に行くというようなツアーを考えてほしい。将来的に西港を活性化する方向を考えなければならないが、区としても力を貸していただきたい。

(回答)

新潟西港の整備は、区も大きい関心を持っている。平成28年1月に東区自治協議会で県の港湾事務所の職員を招き、勉強会を開催した。これからも事業主体である県と連絡を密にし、リンカーコーポレーションにも一緒に入ってもらい情報共有しながら考えていきたい。

(発言)

JR貨物旧東新潟港路線は、住宅地図で計ると約6,000坪あるが、いつまでも放って

おくわけにはいかない。地域の活性化のため、いろいろな手法を区と一緒に検討していきたいので、支援いただきたい。

(回答)

臨港貨物線は現在、列車の運行は休止しているが、廃止はされておらず、区が手をつけられる状況ではない。今後、JR貨物の計画を注視しつつ、西港の将来構想や空港アクセスなど多方面にアンテナを張りながら、皆様と一緒に考えていきたい。

(発言)

新庁舎誕生5周年プロジェクトで、東区工場夜景バスツアーのほかの催し物は何か。

(回答)

区役所が下木戸に移り5周年を迎えるので、東区の宝を磨き上げる、多くの人が集まるイベントを、実行委員会を作り検討している。その中で、東区工場夜景バスツアーをメインと考えている。これは木戸コミ協と県立大学の学生が考えたことを基に事業化し、区で支援してきたが、大変好評である。平成28年度は区の記念事業として、空港へ行く、ウォーターシャトルで海に出るなど、様々な工夫を凝らす。詳しいことが決まれば区だよりでお知らせする。

(発言)

4月17日の区だよりで**子育て応援**しますという記事があったが、子育て支援センターは、山の下地区にはなく、一番近いところで藤見町である。具体的な子育て応援事業を確認させていただきたい。

(回答)

子育て支援センターは、乳幼児を対象とした、私立の保育園や幼稚園に併設する、市が委託した施設である。山の下地区に施設はないが、公民館でも子育てサークルや、子育てに関する講座を行っている。

区の事業では、初めて出産したお母さんに集ってもらい、区役所2階のわいわいひろばで、子育ての悩みを打ち明け合ったり、グループを作ったりと、子育て支援の事業も行っている。子育て支援センターは、どこのセンターでも利用でき、いろいろな子育て支援センターをはし

ごしているお母さんたちもたくさんいる。山の下地区だと一番近いのが藤見幼稚園で、はじめ保育園にもある。東区内にほかにもあるので、そちらをお使いいただきたい。

(発言)

町内の高い松の木にカラスが巣を作ったので確認するようお願いしたがその後どうなったか。

(回答)

後日、改めて相談する。

→平成27年4月30日にカラスの巣を撤去済み。発言者には電話で伝えるとともに、再度カラスの巣が確認された場合は連絡いただきたい旨を依頼し、了承された。